

「S・G・B」が優秀賞受賞

【愛知】ウエイト東海(片山和洋社長、半田市)はこのほど、「33FGビジネスプランコンテスト2021」に参加し、自社で展開している荷物落下防止システム「S・G・B」を発信。優秀賞として選ばれ、その存在を広くアピールした。

同コンテストは十三銀行および十三総研が主催するもので、三重県と愛知県内における創業や新事業の展開を促進



S・G・Bのイメージイラスト

して起業家などのビジネスプラン実現を「S・G・B」は2017年に同社によって考案された荷物をボックス内へ置くとテコの原理により落下防止用ゲートが閉まるオリジナルのシステムで、労災防止等への活用が期待されている。

1月に津市で行われた審査員らへ対するプレゼンの場では、「1社1名」の規定に準じて片山社長自らが単独で参加。ひと枠15分の時間内においては社長

による熱弁がふるわれ、「S・G・B」に関するエッセンスが前向きに伝えられた。片山社長は受賞に際して取材に応じ、一連の流れにふれて「良い実績づくりとなった」と述べたものの、結果については「S・G・Bを活用する真意がもっと伝わってれば、グランプリも狙えたのではないかと頼もしいコメント。

同社では今後も労災防止や物流現場の安全性向上のため同システムを周知、展開していく構えで、動向が注目される。

(朝妻聖一)